

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、芳川圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和3年12月7日（火）9時30分から11時00分まで
参加者	委員：9人 関係機関：10人
場所	南区役所 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 芳川圏域生活支援体制づくり協議体会長</p> <p>3. 協議内容 テーマ：地域にある高齢者のニーズについて</p> <p>① これまでの会議の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターより、令和2年度第4回会議の報告書をもとに振り返りを行った。 これまでの会議の中で委員から教えてもらった集いの場の情報について、マイマップに落とし込んだことを報告。 <p>② 訪問した地域の様子について紹介（五島地区江之島町）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターより、パワーポイント資料をもとに五島地区江之島町の様子を紹介。 委員より、江之島町公民館を開放する計画について共有。 <p>③ ニーズ調査の結果をもとに地区ごとに分かれて意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターより、ニーズ調査の結果をまとめた資料の見方とマイマップについて説明。 各地区に分かれて、ニーズ調査の結果を見て委員が感じたことを意見交換。グループワークの内容は下記を参照。 <p><五島地区 グループワーク></p> <p>◆地域の高齢者の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠州浜2丁目のあたりは、77歳以上の1人暮らし高齢者が50人以上いる。 戸建てでも団地でも、同じくらいの時期に引っ越してきた人たちの高齢化が進んでいる。 <p>◆集まりに参加しない理由として考えられること</p> <ul style="list-style-type: none"> 役職に就くと、お昼をみんなで食べるときには弁当を用意したり、連絡調整をしたりするなどお膳立てをしなくてはならない。「役職が回ってくると大変だから」と参加を辞めてしまう人もいる。

→年齢を重ねると、自分で準備をしたりすることが億劫になってくる。送り迎えもしてくれて楽しい企画も用意してくれる、お膳立てのあるデイサービスは利用したいという人もいる。

江之島町内にはお店が無く、役職についても足がなければ集まりの準備ができないという人もいる。

◆今まで江之島町内にあった集いについて

- ・婦人部や同年代の集まりなど、以前は町内の住民が集まる機会が多くあったが今はない。
- ・昔は遊ぶ場所がなかったけれど、今は自分で選べるようになり、それぞれが行きたいところに行くようになった。時代の変化を感じる。
- ・以前は“部農会”という農業の集まりで、泊りがけで遊びに行くこともあった。→こうした集まりがなくなって、顔の見える関係が薄れてきている。

◆江之島町公民館を住民の居場所として開放する計画について

<どんな場所にしたいか>

- ・住民が公民館へ自然に来て、自然に自分たちのやりたいことをできるような場所にしたい。“この日は公民館の開く日だ”というように住民に定着させたい。
- ・家にいると気づまりな人もいるかもしれない。公民館に来ることで気分転換をしてもらいたい。
- ・デイサービスに行くようになったことで元気になった事例もあるので、家に閉じこもらず、他所の人と話をすることで良い緊張感を持つことができると思う。公民館を開放することで、家の外で家族以外の人と会うきっかけになれば健康にも良いと思う。
- ・子どもも高齢者も一緒にできることを企画し、住民みんなの居場所になると良い。

<住民に来てもらうための仕掛け>

- ・家で仕事（農作業など）をしている人もいるため、エシャロットの出荷がない日に公民館を開こうと思っている。
- ・住民が来たいと思うような仕掛けが必要。“これがあるから公民館に行こう”と思えるものを用意したい。

(例1) 囲碁、将棋、マッサージチェアなどを用意する。

※ 囲碁、将棋の道具は協働センターなどで活動しているクラブが衰退し解散するため、使わなくなった道具を譲ってもらえることになっている。

(例2) 花札を用意する。

※ 花札は江之島町の一部で非常に人気があるので、盛り上がるのではないかと。

(例3) 移動スーパーを公民館の駐車場に呼んでみるのはいかがでしょうか。

※ 以前、江之島町公民館の部屋を用務店が借りて商売をしたことがあった。

そのときは、洋服等も買うことができた。しかし、町内の利用客が少なく公民館の賃借料もかかるため、その後用務店は来ていない。

※江之島町の住民は自分の家で野菜を作っている人が多いため、移動スーパーが来ても野菜の需要はあまりない。肉や魚など住民のニーズに合ったものでないと買わないのではないかと。

<河輪地区 グループワーク>

◆ニーズ調査の全体的なこと

- ・あらかじめ、元気はつらつ教室利用者8名、民生委員10名にアンケートをとったものであることを説明。

◆「高齢者の集まり」について

- ・意見交換の中で東友会や西和会、シニアクラブなどの名前が多数挙がった。
- ・東友会は青年会の花火等の同好会のため、男性が多い。
- ・いきいきサロンは毎月第1火曜日に開かれている。
- ・河輪地区7町の中で富屋町だけシニアクラブがない。各シニアクラブとも会員数は減っているが、安定して活動を行っている。
- ・シニアクラブと高齢者サロンの活動は別。地区社協のサロンとして、子育てサロンを含め5つ展開している。
- ・三新町のシニアクラブで5年ほど前に杏林堂のとくし丸を頼んだことがある。区役所での会議の際、杏林堂からの告知があったのがきっかけだった。3ヶ月ほどの間、週1回来てもらっていたが、買い物に来る住民がだんだん減り、中止になった。

◆「買い物」について

- ・この地域では買い物をする場所に限りがある。遠鉄ストア、マックスバリュ立野店など。
- ・子どもや家族に買い物に行ってもらっているのでそんなに困っていないのでは。
- ・インターネットを使って頼むこともできる。
- ・以前、1年ほどの間、ご近所で何かのついでに買い物へ行ってあげたりしていたが、相手の要望が多くなってくるとなかなか支援するのも難しい。
- ・杏林堂のとくし丸に載っている商品は限られているので、やっぱり自分で店に行き買い物をしたいのではないかと。

<芳川地区 グループワーク>

◆移動スーパーについて

- ・移動スーパーを利用してほしい。自分も利用しているが、事前に予約ができるので非常に便利で重宝している。

しかし、QRコードやインターネットで注文するという事は高齢者にはなかなか難しい。ネット注文のできる媒体を持っていない。

- ・以前はとくし丸が地域の中の一軒の家に来ていた。

とくし丸側としては、そこにご近所の方も集まって沢山の人が利用できればという思いもあったのかもしれないが、「そこまで行くのも遠い」という声が挙がり、とくし丸が1軒ずつ回る形になった。

◆買い物について

- ・昔は商店街があって魚屋や八百屋が並んでいたが、今はスーパーに1か所行けば済むから便利になった。

しかし、スーパーが近くに無い人にとっては逆に不便になっている。1号線より東側の地区はスーパーまでの距離が遠く特に不便。

4. 次回の協議体会議について

■次回会議の日程

日時：2月24日（木）9:30～11:00

会場：五島協働センター ホール

5. 連絡事項

特になし

6. 閉会 芳川圏域生活支援体制づくり協議体副会長

今後の見通し等

今回の会議では、民生委員・児童委員と元気はつらつ教室利用者を対象に実施したニーズ調査の結果を委員に共有し、“ニーズ調査結果を見て感じたこと”について意見交換を行った。

ニーズ調査で見えてきた地域課題の解決に向けて、今後の会議で具体的に検討を進めていきたい。